

涌き立つか雲に乗り来て 美しき

昔の君は今の君とも

令和四年四月二十四日

大中臣正比呂



新月が赤く染まる頃、時運はまた動き出す。

世の真実として、時は旧習を減ぼし新生を促すものだ。

仏法は、諸行は無常と諭し、如何なる存在もまた不変の呈は叶わぬと説く。

現世の苦難を取り去るのは二時のみ。一つは、成功して苦難の過去が光る時。

二つは、死後にその苦難に対し、人の賛辞を受けし時。されば前者は分福を、

後者は教訓を残すべく生きよ。評価は神仏より頂くものである。